

才一 緒言

一 獨立混成才百五旅団は蘭貢防衛の目的を以て編成せられたるものにして其の編成完結は昭和二十年三月十日なるも既に其の以前に於て大部の編成を終了し又其れ以後に於ても一部の編成未了の儘終戦に至れるものなり而して蘭貢防衛の性質上隷下部隊以外の緬甸方面軍司令部、防空部隊、兵站諸部隊、鉄道船舶飛行場部隊、憲兵、海軍部隊入院患者監獄収容者並に居留民等凡そ戦闘能力ある在蘭貢日本人の總てを其の指揮下に入れ作戦に任すへき特殊の編合部隊なりとす故に兵員の中には未教育者多致あり又指揮官と雖も兵科兵種を本質と異なりたる戦闘任務に従事せざるべからず其の作戦遂行の困難性は甚大にして作戦前寸暇を利用し編成並に戦闘訓練に努力せし

と雖も作戦開始せらるゝや其の戦闘能力才一線兵団の比にあらず旅
團長以下各指揮官の統帥指揮に苦心を払ひしこと筆舌に尽し難きも
のあり然れども作戦終了と共に緬甸方面軍司令官より当兵団に感状
(附録才六)を附与せられたる光榮を担ひしことは一に兵団各將兵
の一致団結と尽忠報國の精神の発露に他ならず寧ろ奇蹟とも謂ふへ
く戦史上特筆すへき価値あるものと信す。

才二 独立混成才百^五旅団蘭貢防衛作戦計畫

二 本計畫は蘭貢地区の防衛に責任を有する才二十八軍の「蘭貢防衛
作戦計畫要綱」竝に在蘭貢諸部隊及日本人居留民の処理に關し規定
せる緬甸方面軍の「蘭貢防衛の為臨時編成部隊に關する規定」に基
き立案せるものにして昭和二十年二月下旬には之か実行に關し命令
の傳達を完了せり而して本計畫は既に昭和十九年末より蘭貢防衛の
為部隊編成竝に築城に關し遂次其の態勢を整備強化せられつゝあり
しものを改善確立せるものにして爾後本計畫に基き在蘭貢諸部隊は